

朝比奈知泉 あきひな ちしん 新聞記者。文久二年四月二十五日常陸國生れ、昭

和十四年五月二十一日歿（公一丁九元）。幼名釘助、泰健やすけん、號不染廬

主人、智泉、珂南、珂南小史、珂南生、珂水懶漁、痴仙、稼堂、蔣智

泉等。帝國大學法科大學中退。『郵便報知新聞』への寄稿が認められ、

明治二十一年『東京新報』主筆、二十四年『東京日日新聞』主筆を兼

務し、翌年兩紙合併後之主筆を務め、二十六年退社。この間一度外遊。

漢詩にも長じた。

著書『朝比奈知泉文集』（昭和二年四月十五日朝比奈知泉文集刊行

會）、『勝海舟と曲郷南洲』（編、改版・昭和二年七月二十日文武書

院）、『老記者の思ひ出』（昭和十二年二月五日中央公論社）等。